

医学教育分野別評価で認定

— 日本医学教育評価機構 —

本学医学部は、医学教育分野別評価基準日本版V.2.2に基づき日本医学教育評価機構(JACME)による外部評価を受審した結果、本学の医学教育は評価基準に適合していることが認定された。認定期間は2020年11月1日から2027年10月31日までの7年間。同評価は、2010年9月に、米国医師国家試験受験資格審査NGO団体(EGFMG)が2023年以降、国際基準に基づいて認定された医学部の卒業生以外は、米国での医師免許試験受験に資格を得られない」との宣言をしたことから、国際的に通用する医師養成制度を外部監査制度、認定により、本学医学部の卒業生はEGFMGの受験資格を認められ、本学卒業生の海外での活躍の場をいっそう後押しすることとなる。

評価報告書には特筆すべき点として「初年次の全寮制教育と中・高学年での4

女子プロゴルファーの笹生優花氏

昭和大学病院に賞金全額寄付

女子プロゴルファーの笹生優花氏が医療従事者支援のため昭和大学病院に寄付をすとして9月23日、同病院で寄付金授与式が執り行われた。

笹生氏は8月初旬に行われたチャリティイベントで2位に入賞し、その賞金全額を寄付した。笹生氏(左から)下谷康博副理事長(城南信用金庫)、笹生優花氏、相良博典病院長

の自宅が品川区にあることや、弟が同病院で出生したこともあり、本学と産学連携プログラム協定を締結している城南信用金庫が仲介することで、今回の寄付が実現した。

笹生氏は海外のスポーツアスリートが寄付に熱心であることに触れ「私もこのように寄付ができるのは大変嬉しいです。これからも続けていきたいです」と述べるとともに、新型コロナウイルス禍において最前線で治療に尽力している医療従事者へ感謝の意を伝えた。これを受けて、相良博典病院長は寄付に対する感謝の言葉を述べ「スポーツは見る人に夢を与える非常に素晴らしいものです。引き続き、



マスコミからの取材に答える笹生優花氏

笹生さんも頑張ってください」と今後の活躍にエールを送った。

同式には笹生氏の家族と城南信用金庫関係者および病院関係者が出席し、マスコミ各社がその様子を取材した。



ふるさと会統括主管 田中一正

昭和大学ふるさと会は、2018年に「ふるさと」をキーワードに親睦を深めること目的として、昭和大学が全職員・全学生を対象に発足しました。

ふるさと会では、春に学部2年生や新入職員を対象にした新人歓迎会、地域ごとのふるさと会、そして地域の垣根を超えた全体懇親会など、昭和大学に関係する人だれもが集える場を提供しています。

「ふるさと」という言葉は「出身地」のみならず、「現在・過去に住んでいた地域」や「思い入れのある地域」も含まれています。複数の地域に参加することも可能で、世代を超えた交流が楽しめます。

「ふるさと」を軸にした更なる繋がりを構築する場である「ふるさと会」は、皆さまの参加をお待ちしています。

昭和大学 ふるさと会

会員募集中



全学生、全職員のみなさん みんな参加しよう!

活動地域 (令和2年4月現在)

活動地域拡大中!

- ①北海道
- ②東北連合(青森県、宮城県、秋田県、岩手県、山形県)
- ③福島県 ④茨城県 ⑤群馬県 ⑥新潟県
- ⑦長野県 ⑧山梨県 ⑨静岡県
- ⑩東海連合(岐阜県、愛知県、三重県)
- ⑪近畿連合(大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、兵庫県)
- ⑫広島県 ⑬山口県
- ⑭四国連合(香川県、徳島県、愛媛県、高知県)
- ⑮福岡県 ⑯熊本県 ⑰鹿児島県・宮崎県

※活動地域外の地域にも入会できます。

入会申込の方法



お申込みはこちらのWEBフォームにて、随時受け付けております。



問い合わせ：昭和大学ふるさと会事務窓口

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8

Tel 03-3784-8118 Mail furusato@ofc.showa-u.ac.jp

URL https://www.showa-u.ac.jp/about_us/org/furusato/



昭和大学